



学校だより

第726号

令和3年1月6日

# 並木通信

〈学校教育目標〉 『わたしの生活は わたしが創ります』

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/namiki1/> 横浜市立並木第一小学校 (並木第一小学校で検索)

## 希望

校長 川村 真弘

深淵、静謐な宇宙空間を6年間、たった一機で旅をする。頼りになるのは時々届く地球からの指令と英知で培った機体だけだ。

2014年12月、「はやぶさ2」は、小惑星の砂を採取し持ち帰るため地球を出発し、膨大な計算と智慧と苦労と希望を重ねて奇跡ともいえるサンプル採取を成功させ帰路についた。

小惑星「りゅうぐう」から地球への帰還。やがて、静寂、暗闇の中に見つけた地球はわずかばかりの光を放つ小さな惑星。でも、どれほど大きな希望に見えたことだろう。どんなに安心できたことだろう。それは、心配や不安が募る現代への啓示だと思う。

「はやぶさ2」が旅を始める2014年、その同じ年に本校に着任した私は、以来7回目の今春も、我が家のベランダから臨む並木の街に向かって、手を合わせ、ご縁とご恩に感謝し、新年の陽光に希望を感じた。



2021年、新春を迎えました。皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますように心より祈念いたします。

横浜市立並木第一小学校教職員一同



初春の今月にして、気淑く風和ぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫す。

令和3年が子どもたち、保護者、地域の皆様、全ての皆様にとりまして、希望という光明が見える一年でありますように。

そして、今春卒業し巣立つ6年生には、意味じくも、「はやぶさ2」の6年という長さと思いを重ねて並木第一小学校で過ごした6年間分の努力と足跡の榮譽を称え、感謝し、盛大にお祝いしたいと思う。

あいさつで心豊かな一日を

